

2022年2月21日
SCSK株式会社

情報セキュリティの高度化に向けた取り組みに関するお知らせ

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:谷原 徹、以下SCSK)は、2021年3月24日に報道された「当社元社員による不正行為」を受けて、執行役員 社長をリーダーとする『全社再発防止プロジェクト』を立ち上げ、事故を風化させることなく、来るべき高度情報社会に安心・安全なサービスを提供し続けられる企業であることを目指した取り組みを推進してきました。下記にその全体概要をお知らせします。

記

1. 情報セキュリティに関する専門組織の設置

最高情報セキュリティ責任者*を補佐し、当社の情報セキュリティを統括し、推進する組織として、2021年10月に情報セキュリティ管理部を設置いたしました。

*最高情報セキュリティ責任者の就任は、「[2021年5月12日付 プレスリリース](#)」にてご案内済

2. プロジェクト現場の情報セキュリティ総点検の実施

顧客業務で取り扱っている情報の重要度レベルを可視化し、安全管理措置の妥当性を評価する仕組みを構築し、SCSKの全開発拠点に対して案件単位に、計220項目にわたる調査を実施いたしました。

3. 全社開発標準への情報セキュリティ観点の組み込み

総点検で可視化された現場の実態を踏まえ、サービスの安心・安全を確保することと、業務運営における属人性の排除を目的として、全社開発標準「SmartEpisode Plus(SE+)」に情報セキュリティ対策を追加し、現場業務プロセスへ組み込みました。今後は、組織ラインと現場が協力して、リスクマネジメントと現場業務運営の改善サイクルを回し続けてまいります。

4. 社員教育の再徹底

- 情報セキュリティの高度化認識を社員に浸透させることを目的として、eラーニングコンテンツを策定し全役職員への教育実施と、情報セキュリティに関する社内資格制度の整備をし、継続的に改善してまいります。

- 「技術の前に人ありき」の精神に立ち返り、コンプライアンスおよび情報セキュリティ教育プログラムを見直すとともに、全役職員のエンゲージメント意識・職業倫理の向上を図ってまいります。

具体的には社外専門家(弁護士)による不正防止をテーマとした管理者向け研修(一般社員向けには同セミナーを動画配信で提供)、例年実施のコンプライアンス研修、個人情報保護および情報セキュリティ研修の本件事態を踏まえた再実施、全役職員によるコンプライアンスを遵守する旨の誓約、さらに、再発防止及び職業倫理について社員同士でディスカッションするコンプライアンスミーティング等を実施しております。

5. 情報セキュリティ監査機能の整備

下記2つの視点から情報セキュリティ監査機能を整備し、より高いレベルでの情報セキュリティを担保してまいります。

- プロジェクト現場の情報セキュリティ対策について、上記3. で定めた全社開発標準の遵守を図るために PMO 機能による開発各工程での遂行状況を監査
- 上記と連携し、内部監査機能による定期監査にて組織単位の対策状況を確認・フォロー

6. ITツールによる対策の導入

社内の全 PC への操作行動解析ツール導入により、内部不正の対策強化をシステム面からも実施してまいります。

今後とも、「守り」の情報セキュリティを強化するとともに、現場の業務品質向上や DX 事業化、また「安心・安全な社会の提供」に資する重要なテーマとして、「攻め」の情報セキュリティに向けて積極的に取り組んでまいりますので、お客様をはじめ、パートナー企業の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

【お問い合わせ先】

SCSK株式会社

事業革新グループ

SE+センター 情報セキュリティ管理部

青山、岩田

E-mail: info-security@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 大友

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。